

日時・場所	令和7年12月15日（月）13時30分～ 庁議室
出席者	櫻本市長、北脇教育長、辻議世事務局長、井狩政策調整部長、小池政策調整部政策監、川尻総務部長、西村市民部長、井出健康福祉部長、北田健康福祉部政策監、駒井健康福祉部政策監、布施都市建設部長、中塚環境経済部長、田中教育部長、事務局

1. 開会

<市長指示事項等>

- ・今週も議会における予算の委員会等について、協力をお願いする。
- ・野洲駅南口広場にて令和7年12月12日（金）から令和8年2月14日（土）まで、野洲市商工会主催の「イルミネーションパーク YASU」が開催されている。12月18日（木）及び20日（土）にはイベントも開催されることから、職員の皆さんもぜひ参加してほしい。また、イベントを通じて、市民の皆さんに駅前の活用について理解が進むよう、努めてまいりたい。
- ・12月13日に北村季吟顕彰記念事業が開催された。遠方からの参加もあり、全国規模のイベントという認識である。また、12月13日、14日に希望が丘文化公園において「第33回全国中学校駅伝大会」が開催された。1万人程度の来場者があったということで、昨年も述べたが、例年開催されているイベントであることから、本市もこのような機会をもって全国にPRできればよいと考えており、スポーツも大切にしていきたいと考えている。なお、寒い中対応いただいた職員に感謝する。

2. 議題

【報告事項】

①野洲市中期財政見通しについて

少子・高齢化の進行、現役世代の減少を踏まえた国における社会保障制度の動きや経済情勢が変化していく中、本市が独自に抱える行政サービスの課題を踏まえ、毎年、時点修正を加えながら、翌年度から5年間の財政運営の方針を中期財政見通しとして策定する。

<共有>

- ・今回の中期財政見通しでは、野洲駅南口周辺整備に係る構想を見直す段階での状況報告であることから、文化ホール関連については見込んでいない。
- ・資料のまとめにおいては、野洲駅南口周辺整備が控えている旨も記載しているが、コメントを入れることを検討する。

<意見>

- ・先般の議会における市長答弁の中で、駅前整備事業に係る構想は3つあり、3つの案は公平に検討しているということであったことから、中期財政見通しにおいて3つの案のいずれも入れていないことに違和感がある。ついては、3つの案で進めることは決定していることから、「駅前整備事業の動向によっては変更する可能性がある」等コメントとして入れておくのが良いのではないか。
- ・野洲駅南口周辺整備に係る費用について、本資料の投資的経費の中に入っていない旨の記述が必要ではないか。
- ・中期財政見通しと令和8年度予算編成経過当初要求の数字に乖離があることから、その差異について説明できるようにした方が良いのではないか。

②令和 8 年度予算編成経過当初要求の状況について（速報値）

予算編成過程の透明化を目的として、令和 8 年度当初予算の要求状況について公表する。

<共有>

- ・中期財政見通しは決算見込みの数字であり、一方で、令和 8 年度予算編成経過当初要求の状況については、単純に各課の要求をまとめたものである。ついで、決算の時期と要求の時期が異なることから、数字に差異が生じている。

<意見>

- ・中期財政見通し及び令和 8 年度予算編成経過当初要求の状況の両方を 12 月の全員協議会に提出するということから、交付税等財政当局が把握する数字で合せられる箇所は合わせた方がよいのではないか。

③令和 7 年第 6 回野洲市議会定例会提出議案（No. 2）（案）について

令和 7 年第 6 回野洲市議会定例会に、補正予算 1 件を提出する。

→特に意見・議論等はなかった。

④パートナーシップ制度（性的指向や性自認等を理由に困難を抱える人への支援）の運用開始について

本市では、誰もが自分らしく生きることができる社会の実現を目指して取組を進めている。この取組の一環として、滋賀県が令和 6 年 9 月から運用を開始した滋賀県パートナーシップ宣誓制度に基づき、性的指向や性自認等を理由に困難を抱える方々の支援を目的として、令和 8 年 4 月よりパートナーシップ制度の運用を開始する。

<共有>

- ・「LGBT 等」の文言の説明について追記する。
- ・資料別紙 1 「2 滋賀県パートナーシップ宣誓書受領証の提示等が不要なもの」については、混乱を招く可能性があることから、全員協議会の資料からは削除する予定である。

⑤民生委員・児童委員の一斉改選の結果について

令和 7 年 11 月 30 日をもって民生委員・児童委員及び主任児童委員の任期が満了することに伴う一斉改選を行い、令和 7 年 12 月 1 日付け 109 名の民生委員・児童委員の委嘱を行った。

<共有>

- ・欠員が生じている自治会の傾向は 3 つに分類される。一つ目はマンション住民だけで構成される自治会、2 つ目は新興住宅地のある自治会、3 つ目は高齢化率が高い自治会である。
- ・欠員が生じている自治会への影響として、例えば課題を抱えた世帯の状況が行政として把握し難くなることが挙げられる。
- ・民生委員・児童委員は国の制度であることから、今の体制を変えずに市としてできることを記載している。しかし、国の方も本制度についてはあり方を検討している段階であることから、動向を注視しつつ進めたい。

- ・民生委員・児童委員の負担軽減については、業務多寡を防ぐためにも社会福祉協議会と相談しながら検討したい。

<意見>

- ・民生委員・児童委員を推薦する自治会側としては、資料に提示された今後の取組だけでは物足りなさを感じるのではないかと考える。行政懇談会の懇談内容を踏まえると、自治会はより抜本的な改善を求めていると考える。ついては、次期改選までの3年間で、市長の特命で法に抵触しない範囲で制度検討が必要ではないか。
- ・民生委員・児童委員は無償でありボランティアであることから、少しでも負担を軽減するために、民生委員・児童委員を前提とした事業や制度を洗い出し、仕組みを変えていく必要があるのではないかと考える。

⑥本市の幼児教育・保育の今後について

本市では、これまで保育の量的拡大や子ども・子育て支援の充実等を進め、幼保一元化や待機児童対策に取り組んできた。今後も保育ニーズに応えつつ、施設の老朽化や少子化等の課題に対応すべく、本市の幼児教育・保育の今後について検討し、その内容をまとめたので報告する。なお、本件について園職員や保護者等に説明と意見聴取を行っており、現在整理中である。

<共有>

- ・本市の幼児教育・保育施設の今後については、第三期野洲市子ども・子育て支援事業計画のアクションプランである幼稚園・保育所施設整備等実施計画の考え方としてまとめるもので、パブリックコメントは実施しない予定である。なお、幼稚園・保育所施設整備等実施計画は令和7年度末に改訂予定である。
- ・祇王幼稚園の今後については記載がないが、令和11年度までに認定こども園化した後、子どもの数や社会情勢を加味しつつ施設の改修等を検討する予定である。
- ・資料「3. 本市の幼児教育・保育施設の今後について」の将来的（25年先）の内容については、社会情勢も大きく変化していることが予想されることから、一部削除する。

<意見>

- ・資料「3. 本市の幼児教育・保育施設の今後について」の見出しは、「3. 本市の幼児教育・保育施設の今後の課題について」等と表記し、内容も「移転整備」ではなく「移転整備する必要がある」等の課題を示し、これらの課題を解決するために幼稚園・保育所施設整備等実施計画に位置付ける、という書きぶりのほうが良いのではないかと考える。方針の決定なのであれば市長談話とする必要がある。
- ・資料「4. 直近の動き」については、内部協議であることから詳細に記載する必要はないのではないかと考える。

⑦令和7年度物価高対応子育て応援手当について

令和7年11月21日に閣議決定された「強い経済」を実現する総合経済対策において、0歳から高校3年生までのこどもに対し、こども1人当たり2万円の「物価高対応子育て応援手当」を支給することが決定された。このことから、本市においても、速やかな給付の開始を進めるため、補正による予算措置を行うものである。

→特に意見・議論等はなかった。

⑧野洲市商工業振興基本計画中間見直し（案）に係るパブリックコメントの実施について

野洲市商工業振興基本計画が今年度で策定から5年目を迎えることから、このたび、中間見直しを実施した。当該計画は令和3年度から令和12年度を計画期間とし、野洲市の商工業において、これまでの課題を検討するとともに、地域経済の持続的な発展及び市民生活の質の向上を図ることを目的に中間見直しを行うものである。

<共有>

- ・事務局として、商工業振興基本計画の枠を超えているような内容になっていないか精査する。
- ・文言の言い回しや他の計画との整合性等を図る必要があることから、パブリックコメントを実施する前に、一旦、各部局に確認していただく。

<意見>

- ・「第5章 基本目標と実施施策」について、実施主体が市となっている項目については、民間レベルの項目もあるのではないか。

⑨北野小学校大規模改修事業の現場着手について

北野小学校において、大規模改修工事に先立ち、令和8年2月より、工事期間中の学校運営を円滑にするための仮設校舎設置工事に着手するのでお知らせする。今後の事業予定として、仮設校舎を来年8月までに設置し、既設校舎及び体育館大規模改修工事に順次着手する。

<共有>

- ・設計事業者と工事事業者は異なり、本体工事は令和8年度予算で入札・実施する。
- ・当初、北野学区は竹ヶ丘の開発により校舎の増築を計画していたが、竹ヶ丘以降は大規模な開発が無いことから、一旦、増築の計画は中止したという経緯があり、この状況が令和6年度の修正設計に反映されている。一方で、今後の開発も関係することから、令和8年度に再度検討することとしている。

⑩全員協議会への提出事項について

令和7年12月24日(水)開催の全員協議会に報告事項7件、連絡事項12件を提出する。

<共有>

- ・連絡事項「野洲市コミュニティバス再編案に関する市民懇談会」のタイトルについては現在検討中である。

3. 次回部長会議の予定

12月22日(月)13時30分～ 庁議室

4. 閉会